

■令和7年度 学校教育・家庭教育に関するアンケート(学校評価)について

11月に実施した学校評価(保護者アンケート)にご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの結果を報告いたします。(回答は「アそう思う」「イどちらかというと思う」「ウどちらかというと思わない」「エそう思わない」の4つから選択していただきました。(431件/529件回答))

質問内容(一部を要約しています)	ア	イ	ウ	エ	ア+イ	ア+イ前年度比較
1 お子さんは、元気で楽しい学校生活を送っている。	69.4%	25.1%	4.2%	1.4%	94.5%	91.6% +2.9
2 お子さんは、家庭で進んで勉強をしている。	22.0%	38.3%	28.8%	10.9%	60.3%	62.4% -2.1
3 お子さんは、家庭でよく読書をしている。	15.5%	14.4%	29.9%	40.1%	29.9%	36.4% -6.5
4 お子さんは、友達と仲良く遊んでいる。	57.5%	33.4%	7.9%	1.2%	90.9%	89.7% +1.2
5 お子さんは、家庭や地域で、進んで仕事をしている。	17.6%	40.1%	30.6%	11.6%	57.7%	56.7% +1.0
6 お子さんは、家庭や地域で、あいさつをよくしている。	29.9%	44.1%	20.6%	5.3%	74.0%	73.1% +0.9
7 お子さんは、周りの人にやさしい気持ちで接している。	38.5%	49.9%	10.9%	0.7%	88.4%	90.7% -2.3
8 保護者は、子どものよいところをほめている。	41.1%	50.8%	7.7%	0.5%	91.9%	91.1% +0.8
9 保護者は、子どもの悪い行いを叱っている。	68.4%	29.0%	2.1%	0.5%	97.4%	98.4% -1.0
10 保護者は、TVやゲーム、スマホなどの約束を決めている。	45.0%	29.9%	17.2%	7.9%	74.9%	79.4% -4.5
11 保護者は、手伝いをするように働きかけている。	40.4%	44.5%	12.8%	2.3%	84.9%	86.2% -1.3
12 保護者は、身を守る命の大切さについてよく話している。	55.0%	33.2%	10.2%	1.6%	88.2%	89.5% -1.3
13 学校の便りやメール、HPから学校の様子が伝わってくる。	33.6%	45.9%	17.2%	3.2%	79.5%	82.9% -3.4
14 職員は、わかりやすい授業を心がけている。	42.2%	51.3%	6.5%	0%	93.5%	92.9% +0.6
15 職員は、お子さんの努力やがんばりを認め励ましている。	48.5%	45.0%	6.5%	0%	93.5%	90.0% +3.5
16 職員は、子どもの話をよく聞いてくれる。	47.1%	42.9%	9.5%	0.5%	90.0%	88.1% +1.9
17 学校は、いじめや問題行動に適切に対応している。	33.6%	53.8%	11.4%	1.2%	87.4%	85.9% +1.5
18 学校は、保護者の相談や質問に丁寧に対応している。	46.4%	46.9%	6.7%	0%	93.3%	92.2% +1.1
19 学校は、コロナや熱中症等の予防に適切に対応している。	44.3%	49.4%	5.8%	0.5%	93.7%	92.7% +1.0

○保護者アンケートに加え、児童アンケートの結果でも、約9割以上の子が学校生活を楽しく送ることができていると答えています。これに甘えることなく、「楽しく送ることができていない」子に目を向け、どの子にとっても学校が安心して楽しく生活できる場となるように努めていきます。具体的には、職員は、様々な場面で子どもの思いを受け止め、話に耳を傾け、子どもの努力やがんばりを認め励ましていきます。

○家庭では、進んで学習をする子どもの姿が年々減少しています。学校では、今後も子どもにとってわかりやすい授業をしていきます。それと同時に、学習や生活の主体者は子どもであると受け止め、様々な体験や活動を工夫し、どの子ども「自分事」の学びを通して、自らの生き方をたくましく創り出す教育を進めていきます。

○PTAの「家族でクッキング」や「わが家の約束」の取組もあり、進んで仕事をしたり、あいさつをしたりしている家庭が増えています。しかし、ゲームやスマホ等の約束を決めていない家庭が増えており、仲間との関わりを通じたネットの使い方を危惧する保護者の声もおおくみられました。今後、デジタル社会を生きていく子どもたちに、どのようなスキルやマナー、ルールを身に付けさせるのかを考えていく必要があります。

○あいさつやボランティア(仕事)に取り組む姿は一定数みられますが、それに向けた保護者の働きかけは減少しています。人と人とのかかわりの大切さや、働いて役に立つ喜びについて考える場をさらに増やし、家庭・学校・地域が一体となって子どもを育てたいと思います。

○授業参観や学校行事を工夫して実施していることについて、肯定的なご意見を多数いただきました。しかし、「学校の様子が伝わってくる」という保護者が8割を切りました。授業参観の開催回数を検討しつつ、わかりやすい通信の発信を軸に今後も子どもたちのよいところが伝えられるよう努めていきます。

○職員の子どもの接し方やいじめ問題への学校の対応に満足しているという声が大きく増加しています。学校では、いじめ問題対策委員会を機能させ、「いじめを見逃さない」「いじめを許さない」「いじめから守る」取組とともに、一人一人の命、心、人権を大切にされた取組を進め、いじめを未然に防止する温かい学校づくりに精一杯努めます。

※個別にいただいたご意見の中で、改善できることから取組を検討して進めています。

(子ども間のトラブルや心配な姿等については、これまで通り早急に対応していきます。)